

青梅総合高校 国際交流 取り組み

本校は、「自分でつくる、自分の未来」のモットーの下、自分らしい人生を切り拓く力を育むためのキャリア教育が特色の1つであり、さらに、国際理解教育を推進することで、グローバル社会で逞しく生きる人材の育成を図っています。

(1) 海外修学旅行

本校は、平成 26 年度からグローバルな国際感覚を養う体験として、海外修学旅行を行っており、2 年次でグアムを訪問しています。本校のグアム修学旅行の大きな特色は、現地の高校生とお互いの文化を紹介したり、少人数グループに分かれ、チャモロ文化体験したりすることで、日本とは異なる文化や価値観に全生徒が実際に触れることができることです。また、グアムと日本の歴史についても、修学旅行前に事前学習を行い、現地でさらに理解を深めることで、国際社会において重要な広い視野と異文化理解の素養を身に付けています。

<現地校の生徒との主な交流>

- ・英語による代表生徒挨拶
- ・両校の紹介（ステージでのパフォーマンス）
- ・両国の文化紹介
- ・少人数でのプレゼント交換・文化体験
- ・ランチタイム

等



(2) 姉妹校交流

ドイツのポツパルト市にあるカント・ギムナジウム高校と姉妹校を締結しており、平成 23 年度から隔年で訪問交流を行っています。このプログラムは、お互いの家庭にホームステイをしながら学校に通い、生徒同士の交流を深めています。

来日時は 1 週間程度、本校生徒の家庭にホームステイしながら、通常授業や部活動体験の他、日本語や日本文化の特別授業も受けます。また、生徒会を中心に Welcome Ceremony, Farewell Ceremony を実施し、学校全体でドイツの高校生との交流体験を行っています。訪独の際は、英語研修と通常授

業の参加以外にホストファミリーと一緒に生活を楽しみ、ボップルト市周辺の観光を行うことで異文化理解を深めています。

ここ3年は、新型コロナウイルス感染症のため、実施できておりませんが、訪問交流の再開ができるよう計画しています。本校では、和太鼓部、日本文化部（茶道、華道、琴）、剣道部など日本の伝統文化を体験できる部活があります。姉妹校交流を通して、生徒が主体の文化交流も充実したものになるようにと考えています。

<来日>



<訪独>



(3) 留学生が先生！

毎年、1年生を対象に、日本の大学や大学院で学ぶ留学生（中国、韓国、インドネシア、ロシア、マレーシア、ロシア、タイ、アメリカ等）に本校に来ていただき、自国の文化や歴史、日本を留学先に選んだ動機などを生徒に話してもらいます。

母国を離れて学ぶことの決意や覚悟に触れ、留学に興味を持つ生徒や自分の将来について改めて考えてみる生徒もあり、世界に目を向けるきっかけになっています。



(4) TGG 語学体験学習

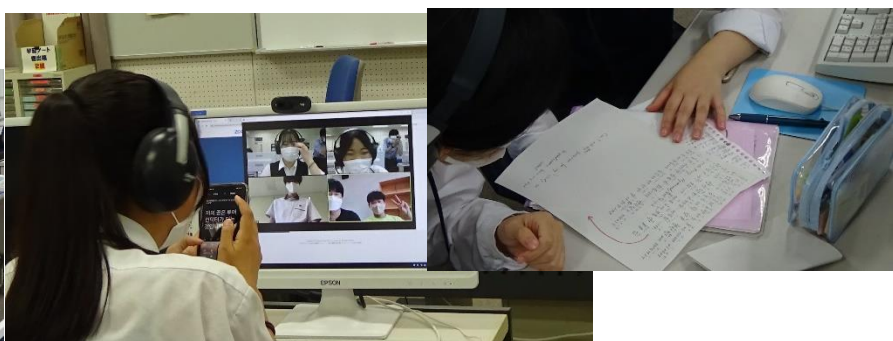
毎年1、2年次生全員がTGGを訪問し、実際に英語のみを使った1日を過ごします。グアム修学旅行の事前学習という位置づけでもあるため、このTGGに向けて、英語の授業での活動や全体事前学習もとても意欲的に取り組んでいます。また、日々の英語学習の力を試せる場としても捉えているため、行く前は不安でも、事後アンケートでは「とても良かった」「まあまあ良かった」と答える生徒が大半であり、充実した学びの機会になっています。



(5) 多言語・多文化授業について

英語以外にもドイツ語、フランス語、ハンデル語、中国語が選択科目として設置されており、異文化理解の授業として、国際理解、日本文化の授業も選択することができます。

令和4年度は、ハンデル発展の授業で3年生の生徒が韓国新松高校とオンライン交流を8回行い、お互いの文化についてプレゼンをしたり、英語やお互いの言語で高校生同士の日常会話を楽しんだりして、交流を深めていました。



(6) YOKOTA HIGH SCHOOL との交流

和太鼓部は、横田基地のYOKOTA HIGH SCHOOLと交流会を行っております。太鼓の披露をしたあとは、実際に太鼓を叩いたり、会話を楽しんだりしながら交流をしています。本校生徒にとっても、英語を使える実践の場となり、貴重な体験となっています。

